



河小だより

四日市市立河原田小学校
学校通信 第 5 号
令和6年6月17日(月)
文責 校長 福井 宣行



「学びの一体化」総会

6月3日(月) 南中学校において、「学びの一体化」総会が行われました。

「学びの一体化」は、中学校区の幼稚園、認定こども園、保育園、小学校、中学校が連携を密にし、一貫性、連続性のある指導方法や指導体制を共有することによって、なめらかな接続を図り、「確かな学力」と「健やかな成長」の伸長を目指すものです。

子どもの成長のための支援・指導は、単年度で終わるものではなく、就学前から義務教育終了まで継続し、高等学校教育を終える段階で身に着けておくべき力を踏まえて行っていくものです。今どのような力を身につけさせていけばよいのか、学校でも研修を深めるとともに、保護者の皆様と目の前のお子様を見据えながら、共に進めていければと思います。

また、この取り組みは、校種がわり環境が変化することにより不応を引き起こしてしまう、いわゆる「小1プロブレム」や「中1ギャップ」の未然防止にもつながっています。

当日には、南中学校区それぞれの園・学校から教員が参加しました。全体会その後、「授業づくり」「学びのルール」「生徒指導」「体力づくり」「特別支援教育」「外国人支援」「人権教育」「キャリア教育」の分科会に分かれ、話し合いを行いました。

【全体会】



【分科会①】



【分科会②】



三泗陸上記録会

ホームページでもご紹介させていただきましたが、6月4日(火)に中央緑地公園において、三泗陸上記録会が行われました。(裏に続く)



6年生全員が、出場もしくは運営準備に携わり、暑い中頑張っていました。中でも素敵な出来事を3つご紹介します。

- 1 女子400mリレーが6位に入賞しました。
- 2 入賞は逃したものの、「練習時より記録が伸びた」と自己評価をしている姿がありました。
- 3 他校の先生方が、運営準備にかかわってくれた児童の働きを絶賛していました。

後日、6年生が練習でお世話になった先生に、当日の結果とお礼を伝える姿も素晴らしかったです。最後に、児童の記録会参加においては、PTAより児童活動援助費としてバスを調達していただき、子どもたちの安全かつスムーズな移動にお力をいただきました。紙面上ではありますが、厚くお礼申し上げます。

「魔の6月」

かつてから子どもが不安定になりやすい時期が、6月、11月と言われています。その理由は諸説ありますが、学期の中頃であることからの「中だるみ」と言われたり、安心感をもたらすセロトニンの合成の不具合(2017年中野信子・脳科学者)と言われたりしています。しかし、過去のデータ(日本スポーツ振興センター「学校等の管理下の災害」より)から、子どもたちの不安定になる時期は確かに存在し、いじめや荒れが起こるリスクが高くなる時期と言ってもよいかもしれません。

医療機関のHPに、セロトニンの分泌を促すためには、「日光を浴びる」「適度な運動」「バランスの良い食事」「睡眠と休養」など、基本的な生活習慣に関わることを示されているため、ご家庭の協力をお願いしたいと思います。

教室は教師と子ども、また子ども同士といった人同士の絡み合いですから、そこには人と人のつながりが成り立つための条件があります。一つは、「互いを思いやる気持ち」、もう一つは「ルール」です。これらがそろって初めて、子どもたちは「心理的な安全」を得ることができます。

けがをする子どもも増えています。心身ともに自他の安全を考えることができるよう、学校、ご家庭ともに子どもに、この2点について協力して進めていければと思います。

休日の中学校部活動の地域連携・地域移行

部活動は、子どもたちの自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を育むことや、好ましい人間関係づくりに大変意義ある活動です。しかし、少子化の進展により、今までと同じような体制では運営が難しくなり、学校単位では存続が難しい部活動が多くなってきています。

そこで、本市では、学校と地域が連携しながら、子どもたちが主体的にスポーツや文化芸術活動を選択し、参加できる場を確保していくという、休日の中学校部活動の地域連携・地域以降を進めているところです。

現在、5・6年生の児童、中学1・2年生及び保護者の皆様の意見を反映すべく、アンケート調査を実施しておりますので、ご協力よろしくお願いたします。